



セベル・ピコ

宝飾部品の専門メーカー

グローバル知財戦略フォーラム2016

-地方発グローバル展開企業の知財戦略-

1. 企業紹介
2. 経営戦略
3. 主要製品の紹介
4. 知財の活用
5. 知財対応と取り組み
6. 海外での事業展開
7. 地方創生に向けて
8. 知財権に関する要望

2016年1月26日(火)

株式会社セベル・ピコ

代表取締役 二宮 朝保

*****社名の由来*****

セベル - sävel(フィンランド語)

旋律、楽曲(英語のmelody,tune,note,toneに該当します)

ピコ - pico(スペイン語)

尖った先。または、単位の前に付けて1兆分の1(10^{-12})を表します。

セベル・ピコの社名は、創業の精神を表したものです。真珠ジュエリー業界で斬新で突出した商品を開発するメーカーを目指すという想いを表しています。

私たちは装身具(クラスプ)という商品に美しい旋律(セベル)を持たせて、独創性と独自性を突き詰め、いつまでも尖った(ピコ)存在でいたいと考えております。

1. 企業紹介

1973年設立 宝飾用パーツの専門メーカー

資本金：3300万円

従業員：30名

事業内容：宝飾パーツ及び宝飾品の企画、製造、卸販売

住所：東京都葛飾区青戸1-8-2

関連会社：(株)ジュエルパーツピコ

(株)パーツハウス

(株)愛媛ジュエルピコ

生産拠点：セベルピコ東京工場（葛飾区立石）

セブジュエルピココーポレーション（フィリピンセブ）

タイセベルピコカンパニーリミテッド（タイバンコク）

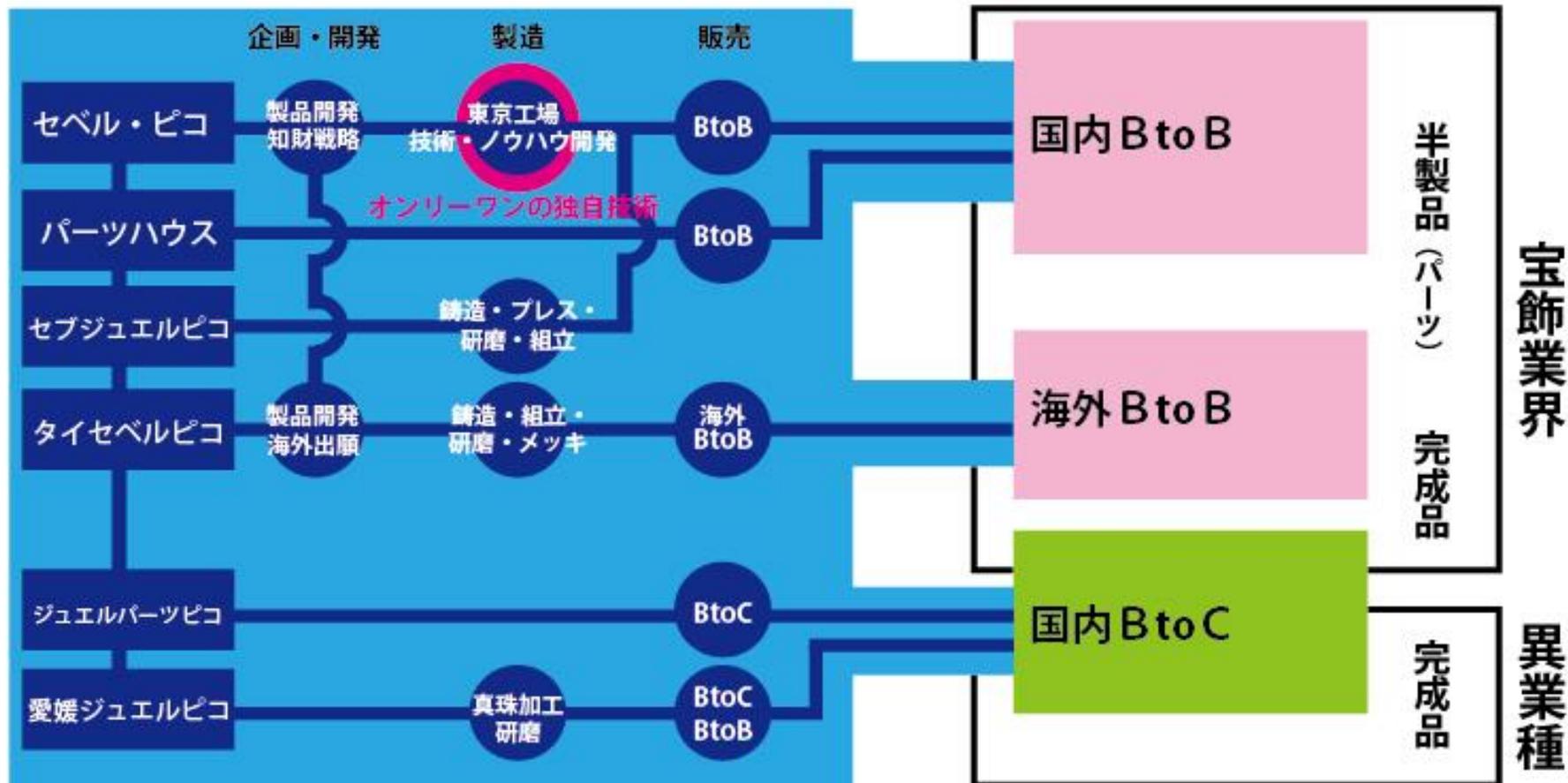


2. 経営戦略

各拠点が自立・連携して複数の販売チャネルで市場を開拓していく

セベルピコグループ

市場



3. 主要製品の紹介

■ ワンタッチクラスプ[®]C-move[®]

1999年の発売以来累計販売数500万個のヒット商品であり、ボタンを押すだけで取り外しができる、業界でスタンダードとなった留金具。



■ C-move[®] エコクラスプ[®]

C-moveの製造工法を変え、軽くて丈夫で、さらに使いやすくなったクラスプ。



■ クリップクラスプ

好きな場所で自由にアレンジして留められ、普段使いでもジュエリーを気軽に楽しむことを可能にしたクラスプ。



4. 知財の活用

■ 知財戦略(五人の侍の活用)

C-moveクラスプにおける知的財産権の例

国内 特許3件 意匠7件 商標3件

海外 米国特許1件
PCT出願7カ国

5カ国7件の出願



クラスプと呼ばれる
ネックレスの留め金具。
小さな部品に幾つもの
工夫や知恵が織り
込まれています。

全体意匠
第1477628号
部分意匠
第1477629号



部分意匠
第1497878号

全体意匠
第1477626号
部分意匠
第1477627号
本意匠
第1482207号
関連意匠
第1482543号
他に
欧州共同体、米国、
中国、韓国、タイ
へ7件の出願



図形商標
第5651996号

約W10×L20(mm)



商標
「シームーブ」第4507179号
「C-move UFO」第5624402号

見て分かる技術は

特許

特許第4046170号、特許第5292031号、
第3952250号
米国特許1件、PCT出願7カ国

見えない技術は

ノウハウ

5. 知財対応と取り組み

■ 侵害品を許さない

- ・粗悪なコピー品が出回った苦い経験。
- ・警告を発し、コピー業者に強いメッセージを送る。

■ 展示会は慎重に選ぶ

- ・侵害品に対して毅然とした対応をとる主催社を選ぶ。

■ やむを得ない場合訴訟も辞さない



「第7回葛飾町工場物語」ストーリーマンガより

6. 海外での事業展開（1）



■ アジアに生産拠点を求めて進出

1989年 アセアン諸国を視察。

1990年 セブ・ジュエルピコ 設立。(フィリピン セブ島)

1993年 タイ・セベルピコ 設立。(タイ国 バンコク)

1996年 中国に生産拠点(2社) 設立。

1998年 香港に現地法人の販社 設立。

2002年 販社オアシスを設立。(タイ国 バンコク)

2003年 中国・香港から 3社 撤退。

6. 海外での事業展開（2）

■ セブ・ジュエルピコ コーポレーション

設 立： 1990年（1991年操業開始）
立 地： フィリピン セブ
従 業 員： 約40名
製造ライン： 鋳造・プレス・組立・研磨
そ の 他： 2007年 レストラン事業開始



■ タイ・セベルピコ カンパニーリミテッド

設 立： 1993年（1994年操業開始）
立 地： タイ国 バンコク
従 業 員： 約80名
開発ライン： デザイン・設計・原型
製造ライン： 鋳造・組立・研磨・メッキ
そ の 他： ヨーロッパ等への輸出販売を独自に行う



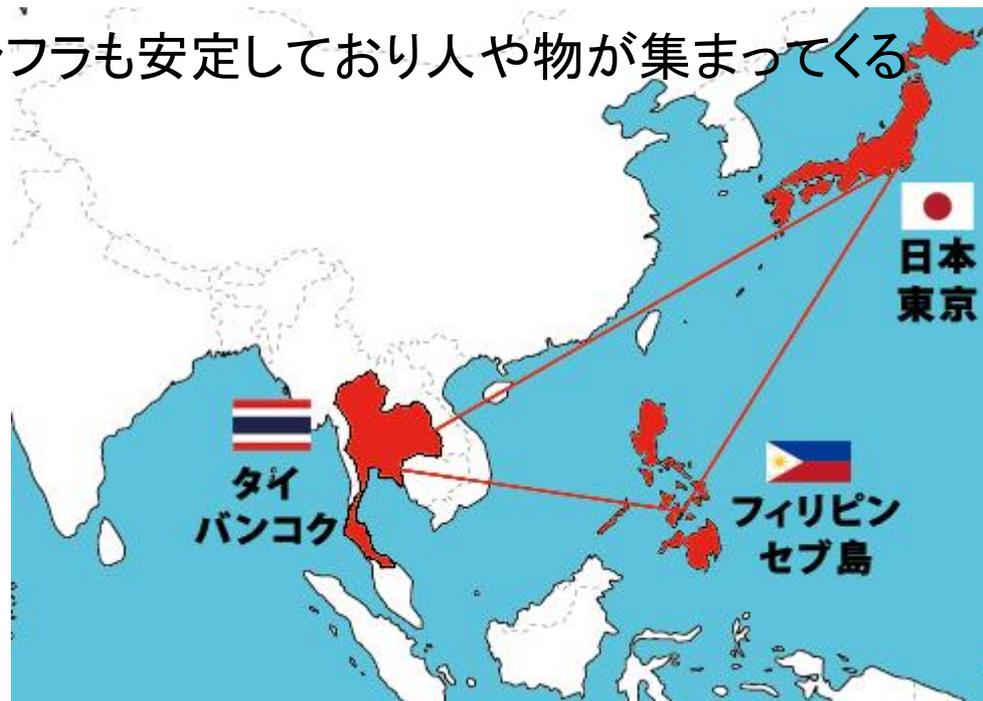
タイ工場内の風景



6.海外での事業展開(3)~今後の海外戦略~

■タイは東南アジア・南アジア・東アジアを結ぶ要所

→インフラも安定しており人や物が集まってくる



■生産拠点としてだけではなくグローバル戦略を考える上で、
管理・販売・知財なども含めた総合的な戦略拠点に変えていく



<海外戦略を再構築>

7. 地方創生に向けて

■ 我が社の取り組み

全国的に製造業が衰退しており、地元の葛飾区においても町工場が減少しているが、模倣されにくいノウハウを蓄積する為あえて新しく工場を葛飾区に設立した。

また、異なる業種の企業とコラボして、新商品開発および新市場開拓に向けて知財を活用しつつ取り組んでいる。



8. 知財権に関する要望



平成27年6月に策定された
「知的財産推進計画2015」に
述べられている3本の柱が
スピードを持って進むことを期待します。

- ① 地域中小企業の知財戦略強化と地方における
産学・産産連携の促進
- ② 知財の紛争処理システムの活性化
- ③ コンテンツと周辺産業の一体的な海外展開



セベル・ピコ

宝飾部品の専門メーカー

**ご静聴、
ありがとう
ございました。**

